

決済サービス事業他

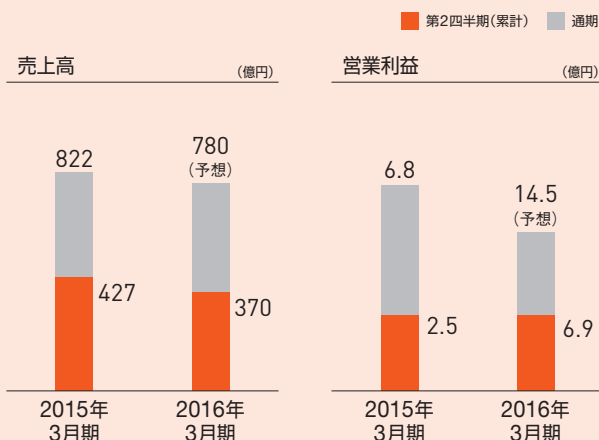
Settlement Service & Other Business

営業利益
セグメント別構成比
10.7%

事業
内容

決済サービス、海外事業、その他新規事業

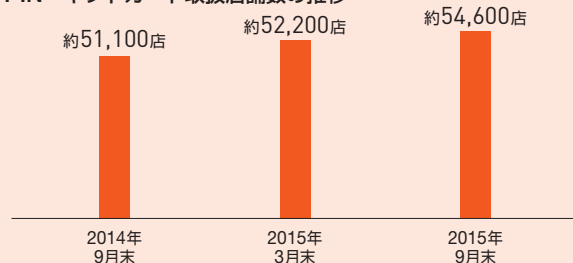
業績



券面額を売上高とする電子マネー系商材から、受取手数料のみを売上高として計上するギフトカードへと商品構成の変化が続いており、売上高は370億50百万円となりました。

利益面においては、コンビニエンスストア等でのギフトカードの販売が好調に推移したことに加え、中国やシンガポールでの海外事業において収益が改善したことにより、営業利益は6億97百万円となりました。

PIN・ギフトカード取扱店舗数の推移



2016年3月期の取り組み

決済サービス事業

- 市場の拡大に応じて、新たな商材を拡充し、ギフトカードを拡販
- 新たな販路の開拓
- ユーザーニーズを的確に捉えた積極的な販促活動を推進

海外事業

携帯電話等販売事業 (中国)

- 日本式サービスの浸透と販売効率化の実現

決済サービス事業 (シンガポール)

- ギフトカードの販売強化により早期黒字化へ

